

会 議 録

会議の名称	令和3年度第3回 茨木市男女共同参画推進審議会
開催日時	令和4年2月14日（月）午前10時00分～午前10時55分
開催場所	茨木市役所本館6階第1会議室 ※Zoomで開催
議 長	長町 理恵子 会長
出席者	長町会長、新ヶ江副会長、入交委員、梅澤委員、檜本委員、五寶委員、道満委員、矢野委員 【8人】
欠席者	木村委員、城谷委員、畑委員、藤里委員、【4人】
事務局職員	上田市民文化部長、松山市民文化部次長兼人権・男女共生課長、藤井ローズWAM所長、木下ローズWAM所長代理、源本男女共生係長、大和
開催形態	公開（傍聴人 3人）
議題（案件）	(1)第3次茨木市男女共同参画計画策定に係る意識調査の報告について (2)その他
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ (資料1) 茨木市男女共同参画に関する市民意識調査報告書 ・ (資料2) 指標達成状況（令和4年1月時点） ・ (当日資料1) 市民意識調査報告書（P6 差替） ・ (当日資料2) ヒアリング調査のまとめ資料 ・ (当日資料3) ご意見と事務局回答 ・ (当日資料4) 事務局回答別紙

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	(傍聴者3名入室)
長町会長	「令和3年度第3回茨木市男女共同参画推進審議会」を開催する。
事務局	<p><会議の成立について説明></p> <p>本日の出席委員は全12人中の8人で、欠席委員が4人。半数以上の出席があるので、茨木市男女共同参画推進審議会規則第6条第2項の規定により、会議は成立している。</p>
長町会長	案件1「第3次茨木市男女共同参画計画策定に係る意識調査の報告について」
事務局	【事務局説明】
長町会長	質問や意見等あれば、お願いします。
新ヶ江副会長	資料2だが、目標値の数値がかなり高く設定されている印象がある。その根拠について説明してほしい。
事務局	例えば4番であれば、「市民意識調査の結果をもとに「どちらかといえば〇〇の方が優遇されている」という回答者の半数が「平等」と回答するようになるよう算出」とそれぞれに根拠を記載している。今回の結果をみて目標値に達していない項目が多いので、次の計画策定の際は評価方法を含め指標について検討したい。
新ヶ江副会長	目標値との開きが大きすぎるので気になった。根拠の説明があったが、検討の余地があると感じる。
五寶委員	今の質問と回答について、目標値が高いので次には実際に即して検討するというだけでなく、どうして到達しなかったかの理由が知りたい。目標値が高すぎたのかもしれないが、何らかの理由があるのではないかと思う。
樫本委員	目標設定は設定されたときにそれなりの考えがあったと思う。目標に合わせるのではなく、達成しなかったのはなぜかが問題である。コロナ下で難しいところがあるかもしれないが、なぜかの理由を検討してほしい。
事務局	前回の計画策定の際には根拠を持って目標値を設定したが、目標値に達

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
長町会長	<p>していない部分が結果として多くある。目標値は、市民意識調査の結果を受けた目標値と市が行う事業の目標値の2種類に分かれる。市の事業が目標に届かなかった理由は、しっかり分析する必要がある。調査結果の意識については市の取組のほかに社会情勢も影響する。到達しなかったもの、到達したもののそれぞれに、今後分析をしていきたい。その分析を含めて次期計画の目標設定に活かしたい。</p> <p>他に質問や意見等あれば、願います。</p>
新ヶ江副会長	<p>資料2の評価のところをみると、男性と女性では結果が反対のところはいくつかある。この結果を踏まえての対策を検討することになるが、男性、女性それぞれを対象にした啓発活動、年齢層のターゲットなど、今後の啓発の方向性は考えているか。</p>
事務局	<p>男性と女性で目標の達成が異なる点は計画策定のなかで検討したい。啓発の方向も今後検討する。</p>
入交委員	<p>例えば、男性の目標値への到達度が高いのがワーク・ライフ・バランスの認知度であったが、コロナ下で講座の実施が難しい状況であり、意識を変えていくには教育の役割が大きい。義務教育の中での取組を市が促進するのが大事である。高校生ではワーク・ライフ・バランスについて、社会科や家庭科で学び、試験問題にも出てくるので、みんな知っている。何年も前から注目してきたことなので、学んだ子どもたちが成長して、この結果につながっていると思い、教育の果たす役割が大きいと感じた。それをどう市がフォローするかが大事と改めて思った。</p>
長町会長	<p>私もこのワーク・ライフ・バランスの認知度の違いには驚いた。このテーマは、会社の研修などでも取り上げられるので、年齢が高い方については、会社勤めが多い男性の認知度の方が高いのかもしれない。</p>
長町会長	<p>意識調査の結果だが、各設問とコロナの関係は注意して解釈する必要があると思う。例えば、男性のテレワークが増えている。テレワークが進んでいるITなど情報関連業種は男性が多く、テレワークが難しいサービス業などで女性が多いため、男性のテレワークが多くなり、業種に占める男女の偏りが影響しているだろう。また、コロナの影響として、家庭内の家事分担で女性の方に負担が増えたという結果となった。一方、コロナ後は「個人の生活」を優先する男性の割合が増え、在宅時間が長くなった男性の家事参加や意識の高まりが背景にあると考えられる。ただ、男</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
榎本委員	<p>性の在宅時間が長くなったことで、女性の家事負担が増えているとも考えられ、コロナの影響は、調査結果を注意深くみて違った解釈にならないように気をつけないといけない。</p> <p>男性の意識が大きく変わっているというのは、この調査で全体的に感じたことである。</p> <p>コロナ下の男性の在宅ワークと女性の職種について、男性は在宅で仕事をして、女性がパートなどからの帰宅後に家事を要求される状況がある。男女の職種の違いとコロナとの関係はあると感じた。</p> <p>男性の育児休業の取得が増えないが、育児休業を取った場合の補充の人員配置がないので、周囲の人の負担が増える。そういった、育児休業が取れない理由が気にかかる。</p>
梅澤委員	<p>私たちは、小学3・4年生を対象に「わたしのからだはわたしのものよ」というワークショップをしている。例年は、3・4年生にそれぞれ90分のワークショップを実施するが、調査対象の5年生は、4年生の時にコロナの影響でワークショップが実施できていない。「自分の心と体は大切なものだから、いやなことをことわってもいいことを学んだことがある」の回答結果の75.8%が、コロナの影響で実施できない期間があったことによるのかどうかかわからないが、もっと周知して、ワークショップの活動を継続していきたい。</p>
長町会長	<p>自主休校する子どもも多いと聞くので、その影響もあるかもしれない。</p> <p>案件2「その他」</p>
事務局	<p>事前資料に、今年度作成した、性の多様性の市民向け啓発リーフレットと「WAM通信」が入っている。リーフレットの配布状況については、当日資料の別紙で配布先と部数の一覧表に記載している。</p> <p>委員の任期について、今年度で満了となる。退任と交代の委員のほかは、引き続きよろしくお願ひしたい。</p>
長町会長	<p>新ヶ江副会長に退任のあいさつをお願ひする。</p>
新ヶ江副会長	<p><あいさつ></p>
事務局	<p>本日の会議録については、後日送付してご確認いただく。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
長町会長	以上で第3回茨木市男女共同参画推進審議会を閉会とする。 <閉会>